

第 14 回 日本数学会国際研究集会
MSJ International Research Institute 2005/2006

テーマ公募

日本数学会学術委員会

(1) 開催目的

- 国内での数学研究のより一層の活性化
- 次世代研究者の育成
- 海外の数学者との交流の促進

(2) 財政基盤について

- 海外参加者費用および事務局経費のための基礎資金として数学会国際交流特別会計から各年度 200 万円程度が組織委員会に援助される。これ以上の海外参加者費用を必要とする場合は、組織委員会が各種財団・公的資金に応募するものとする。
- 組織委員会は事務局経費として会議参加者から登録費を集める。
- 国内参加者の費用は科学研究費等によるものとし、数学会は補助を行わない。

(3) 開催条件

- 開催主体は日本数学会とする。場合により、大学や財団法人等非営利団体との共同主催・共催・後援も可能とする。やむを得ない場合には、企業等による協賛・後援も許容する。
- 規模は組織委員会の決定に任せられるが、海外からの招待講演者数で 5 ~ 15 人以上、会議期間は休養日をはさんでの 10 日前後を標準とする。海外からの招待講演者については、数学会からの資金援助だけで招くことのできる最低限の人数でもよい。
- 開催目的から考えて単に研究発表を行うのではなく、招待講演者の一部による、解説を主とした講義（1 名につき 1 時間 × 5 回程度）を含め、また講演時間外にも参加者同志の個人的接触が充分行われるような会場の選定、プログラムの作成をする。
- 参加登録は会場施設の許す限りオープンに受け付ける。
- ポスターを作製、国内外に配布し MSJ-IRI の開催をアピールする。
- レフェリーつきの研究あるいはサーベイ論文を主とする報告集を作成し、数学会から出版する。
- 研究集会のアナウンスメントを、適宜、数学通信に掲載する。また、研究集会の開催後、開催報告も数学通信に掲載する。

(4) テーマ公募の方法

- 第 14 回の公募は 2005 年度中の開催に関して、数学会会員から広くテーマを募集する（締切 2003 年 5 月 7 日）。
- 応募者は、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者（国外および国内）とその論文リスト（主要なもの二、三編）を所定の用紙により提出する。また、組織委員として適当な人を、自薦・他薦を問わず、推薦することができる。このうち、研究集会のテーマは、テーマの採否に関わらず公表される。また提案理由は公表される場合がある。
- テーマの公募と選定は、公募委員会が行なう。選考基準は次の四点である。
 - (イ) 国際性
 - (ロ) テーマの水準
 - (ハ) 国内の人的資源（学術面、組織面）
 - (ニ) 分野のバランス

第14回 日本数学会国際研究集会 2005/2006 応募用紙

2005年4月から2006年3月の間に行われる日本数学会国際研究集会のテーマを公募します。提案は、このページ下線部分の拡大コピー（A4サイズ）に事項を記入し、下記宛にお送り下さい。

公募委員会 齋藤 政彦（学術委員長）

他6名の委員名は、公募結果と同時に公表します。

締切 2003年5月7日（必着）

送り先 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学 数理・計算科学専攻 小島 定吉

研究集会のテーマ（日本語または英語*）：

上記テーマを提案する理由**）：

主要講演者（本人の承諾は不要） 氏名（所属） 論文

国内（2～3名）

国外（2～3名）

組織委員候補（この項は空欄でも構いません。自薦他薦は問わず他薦の場合本人の承諾は不要です）

提案者（所属）署名

*）この項目は採択の如何に関わらず公表されます。

**）この項目は採択の如何に関わらず公表される場合があります。